

実践事例 中学部3年／教科別の指導：国語

『集めるものや届ける人や場所の指示を聞き取って、必要な道具を集めよう』

1. 子どもの実態と望む姿

- ・ 中学部3年、男子生徒。
- ・ 日常生活の決まった活動（朝・帰りの支度や係活動等）は、自分から取りかかる。
- ・ 人や物への興味関心を示す表出が少ない。
- ・ 言語によるコミュニケーションが少ない。

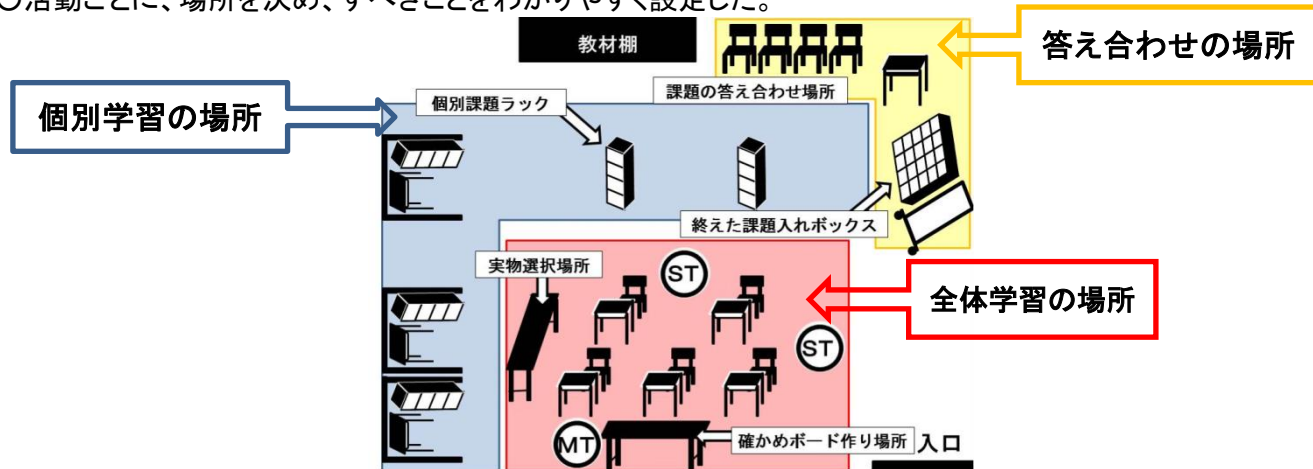
そこで、本題材では以下の望む姿を設定した。

- ・ 活動に見通しをもち、最後まで続けて課題に取り組んでほしい
- ・ 日常の生活場面でよく聞く人や物、場所の指示を聞き取り、確かめボードを使って視覚化し、それを見ながら指示通りに行動できるようになってほしい。

2. 授業のポイント

ポイント1 自分から最後まで学習活動に取り組むための学習環境：場面設定の工夫

○活動ごとに、場所を決め、すべきことをわかりやすく設定した。

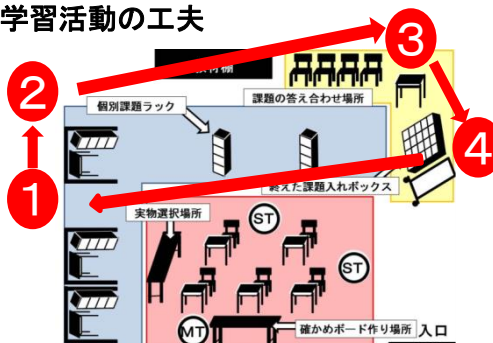


授業構想チェックシート 内容チェック 学習環境：場面設定の工夫① P.3 参照
意欲チェック 学習環境：場面設定の工夫③ P.5 参照

ポイント2 自分から最後まで取り組むための学習活動の工夫

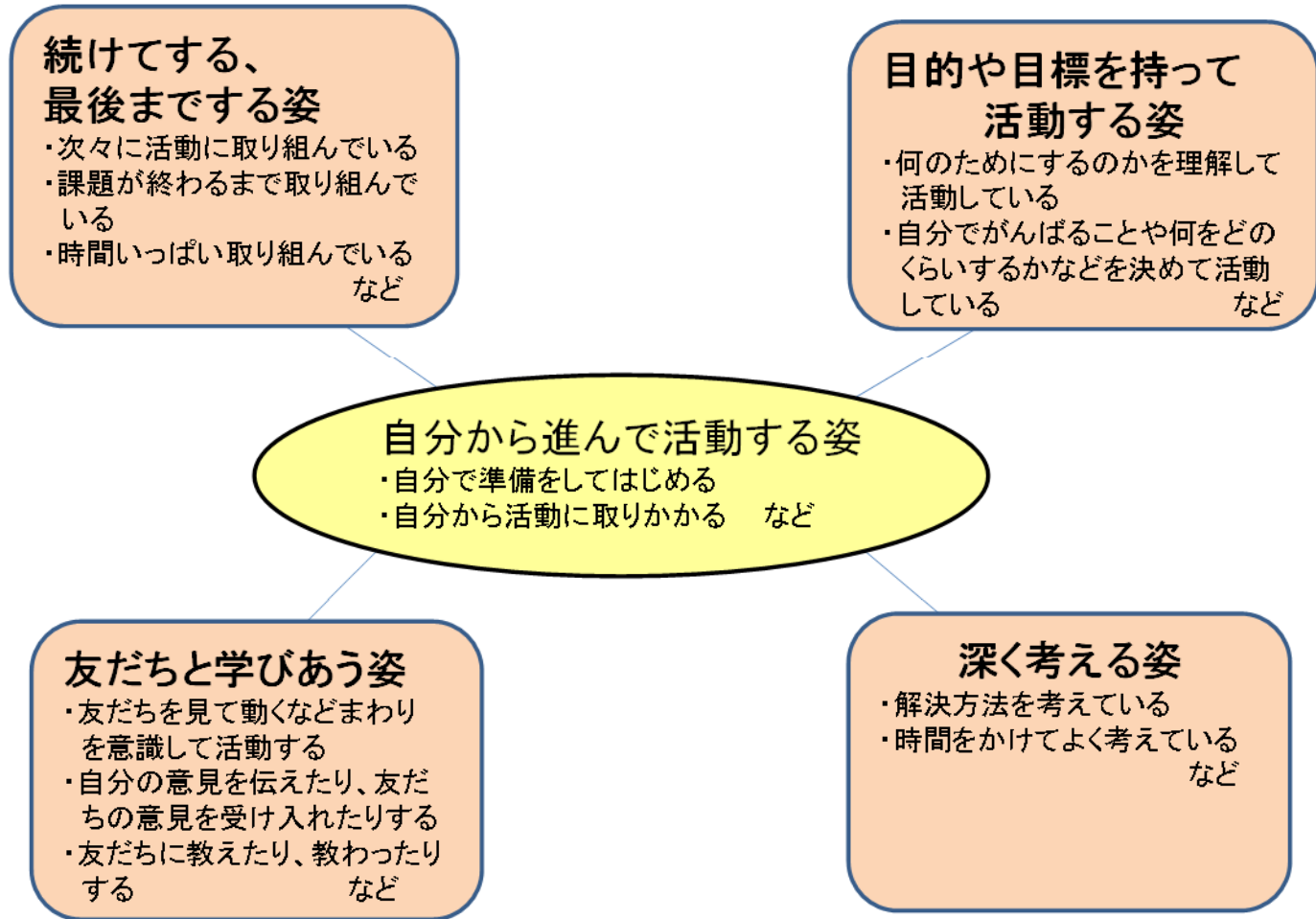
課題の量、個別学習の仕組みをわかりやすくすることで、自分からとり組めるようにする

- ① 課題の入ったかごを取る
- ② 机上で課題を解く
- ③ 答え合わせ
- ④ 終わった課題(かご)を置く



授業構想チェックシート 意欲チェック 学習活動の工夫⑱⑲ P.7 参照

児童生徒が意欲的に取り組む姿



自分から進んで活動する姿を基盤にし、
児童生徒一人一人のより意欲的な姿が現れる